

史跡大船遺跡、史跡垣ノ島遺跡を含む
「北海道・北東北の縄文遺跡群」が

ユネスコ世界文化遺産の 国内推薦候補に選定されました

7月19日、函館市を含む18自治体が共同で提案した「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、国の文化審議会世界遺産部会において、ユネスコ世界文化遺産の国内推薦候補に選定されました。

縄文文化は、日本列島において、およそ紀元前1万3千から300年の1万年以上にわたり、多様な自然環境に適応し自然と共生しながら、狩猟、漁労、採集により定住を達成した人類史における希有な日本列島固有の文化です。

とりわけ北海道南部から北東北は、津軽海峡を挟んで同一の文化圏が形成され、1万年もの長期間におよぶ持続可能な社会を実現した物証としての縄文遺跡が数多く残されています。その中でも「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、国の史跡や特別史跡として保全や活用が十分図られている遺跡で構成される縄文文化を代表するものです。

今後とも、関係機関との連携を一層深め、登録後の構成資産の保全や活用についても検討を進めながら、世界遺産への正式登録に向け、官民一体で全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

構成資産 大船遺跡・垣ノ島遺跡（函館市）、キウス周堤墓群（千歳市）、北黄金貝塚（伊達市）、入江貝塚・高砂貝塚（洞爺湖町）、大平山元遺跡（外ヶ浜町）、田小屋野貝塚・亀ヶ岡石器時代遺跡（つがる市）、大森勝山遺跡（弘前市）、三内丸山遺跡・小牧野遺跡（青森市）、一ツ森貝塚（七戸町）、是川石器時代遺跡（八戸市）、大湯環状列石（鹿角市）、伊勢堂岱遺跡（北秋田市）、御所野遺跡（一戸町）

お問合せ 文化財課 ☎21・3563



▲ 史跡大船遺跡



▲ 史跡垣ノ島遺跡



「洪水ハザードマップ」を配布します

函館市洪水ハザードマップ

このハザードマップは、台風や大雨等による利用川は氾濫や土砂災害から、身を守るための避難行動や危険箇所について、お知らせするために作成したものです。災害時の情報収集や避難の行動について正しい知識を身につけることは、適切な避難行動につながるため、日頃からそれぞれの災害の危険について、よく理解しておきましょう。

上記の範囲以外の河川が氾濫する恐れがありますので、市や関係機関からの情報や河川の状況を確認し、危険を感じたら速やかに身を守る行動をしてください。

事前の心得

- 日頃から自宅周辺で予測される災害の危険性を確認しましょう。
- 災害や避難に関する情報の入手方法を確認しましょう。
- 家族の安全確認方法は、避難場所や避難経路を確認しましょう。
- 地震で発生する避難場所や避難経路が崩壊しないよう、避難経路や避難場所（駅）が示された場合には、すみやかに避難してください。

市では、北海道が指定した水位周知河川がはん濫した場合に想定される浸水の区域や深さを示した「洪水ハザードマップ」を作製しました。

9月中に指定河川が位置する旧函館市域内に全戸配布します。

日頃から浸水区域の確認を行い、災害に備えてください。

お問合せ 総務課防災担当 ☎21-3676



函館博物館

新収蔵資料・アイヌ絵展

新たに博物館資料となった、北海道・函館を物語る資料と収蔵資料のアイヌ絵について展示します。

期間 9月29日(土)～(新収蔵資料は11月4日(日)まで)

時間 午前9時～午後4時半(観覧は午後5時まで)

※ 11月1日以降は終了時刻を30分繰り上げ。

会場 函館博物館

入館料 一般100円、学生・生徒・児童50円

※ 日曜日の入館料は無料。

休館日 月曜日、毎月最終金曜日、10月9日(火)

お問合せ 函館博物館 ☎23-5480

展示解説セミナー

日時 9月29日(土) 午後1時半～3時

対象 市民

費用 入館料のみ

お申込み 直接会場へ